

地域包括支援センターだより

ささエール Vol.7

地域包括支援センターは、地域にお住まいの高齢者やそのご家族の暮らしや健康に関わるさまざまなお困りごとにお応えするために設置された総合相談窓口です。

<身体の状態や生活状況に応じてさまざまな支援のパターンがあります>

相談の例

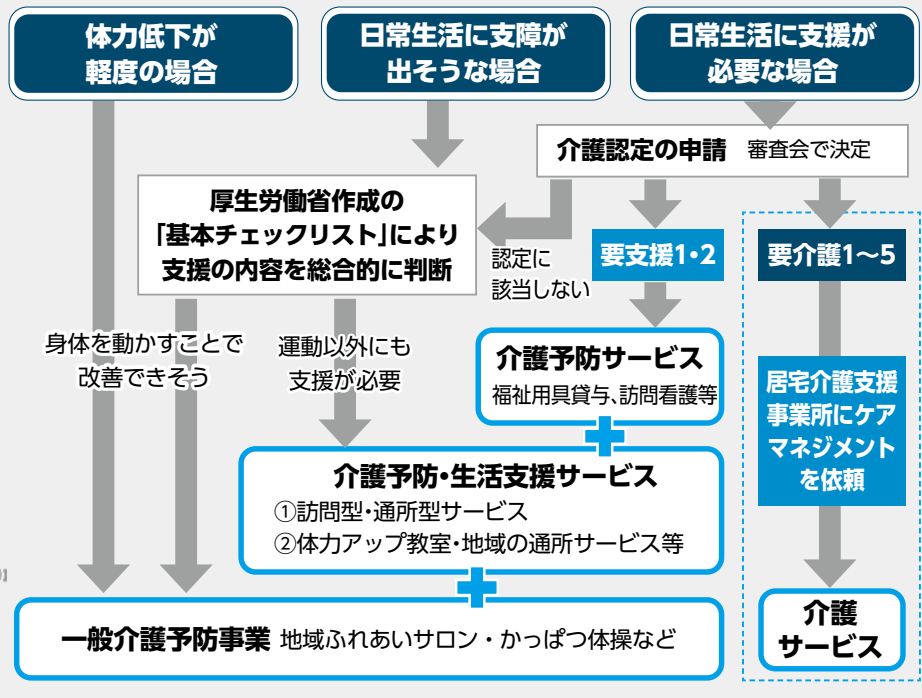
体力の低下が不安

コロナが心配で散歩や外出を控えたり、地区の体操の集まりが中止になったりして、体力がだいぶ落ちている。どうしたらいいですか?



地域包括支援センターに相談した結果...

私の場合は病院のリハビリテーション専門スタッフによる体力アップ教室に参加するようになりました!



ご相談はこちら

牛久市地域包括支援センター

☎878-5050 FAX 871-0540

牛久市中央3-15-1市役所分庁舎内 牛久市社会福祉協議会

牛久市地域包括支援センター博慈園

☎871-5110 FAX 871-0606

牛久市女化町253-2 社会福祉法人博慈会



問 農業政策課 ☎内線1513



かっぱのスイカを救え

牛久が誇るブランド野菜「うしく河童西瓜」は、今が最盛期。すっきりとした甘さとシャリシャリとした歯ごたえが特長のこのスイカは、県の銘柄推進産地指定を受け、多くの方に長年愛されています。そのスイカが今、存続の危機にさらされています。JA水郷つくば西瓜生産部会長の塩沢譲さん(福田町)は、スイカづくり60年以上のエキスパート。今年も約2100本の苗を作付し、約4000個を出荷します。それでも、ご自分と奥さまの体力を考慮し、今年は面積を減らしたと言います。「生産者の高齢化に伴って、出荷量が年々少なくなっている。全盛期は60人いた部会員も現在は7人になってしまった」と寂しそうな顔。



希望の光は、若い農業者です。「ここ数年、若手がチャレンジしてくれている。まだまだ経験は足りないが、意欲だけはベテランに負けない。一人でも多く部会員を増やして、『うしく河童西瓜』を守ってほしい。そのためには、若い方に農業に興味を持ってもらい、多くの方に食の大切さを伝えていかねば」と話す先駆者の顔は、優しさの中にも厳しさを感じました。